



むち無知♡

お嬢様
メス奴隷に墮つ

登場人物



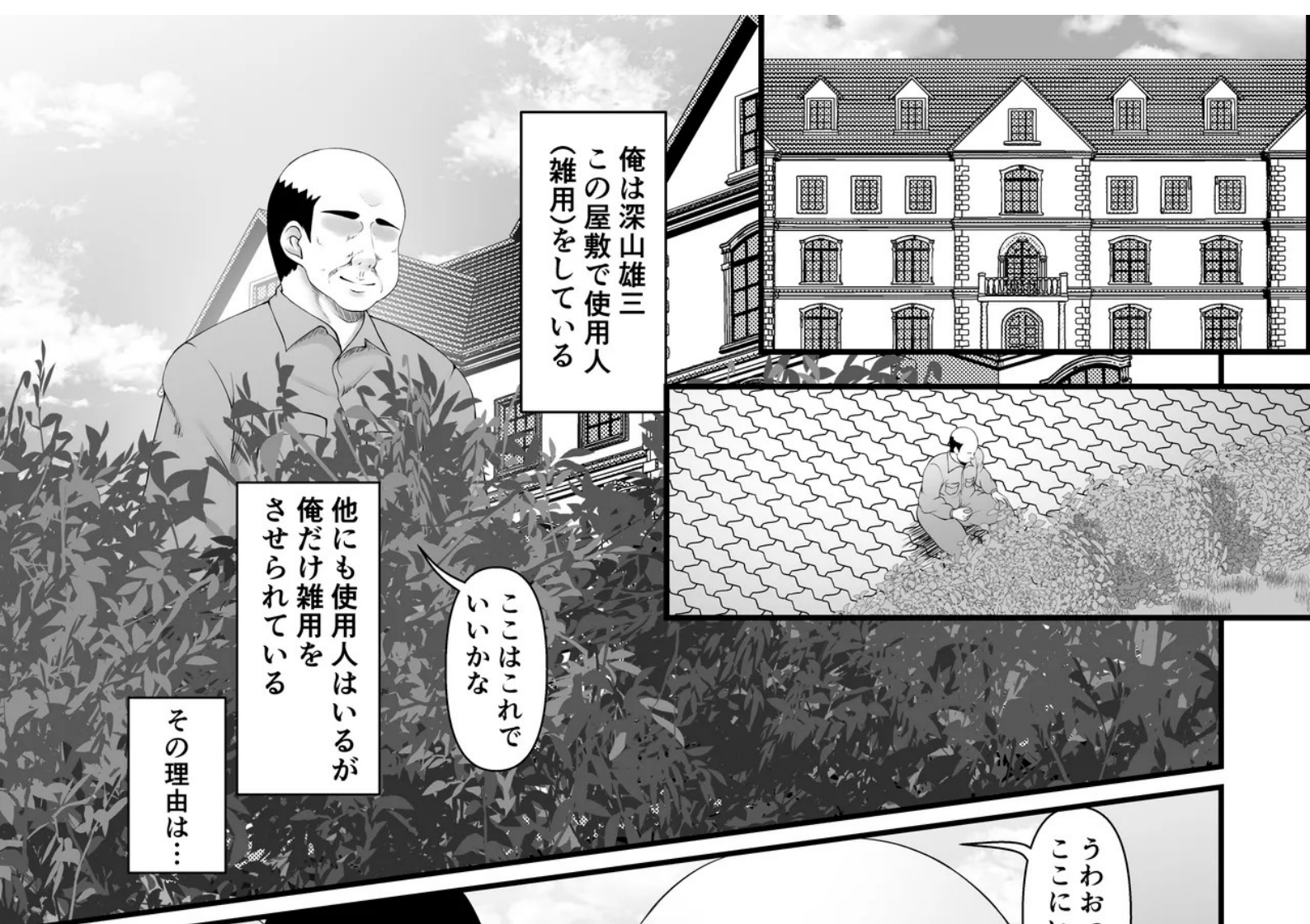
朝比奈 結衣

物語のヒロイン。
お金持ちのお嬢様で世間知らず。
好奇心旺盛で周りから嫌われている
雄三にも接する。
親から性に関することは遠ざけられている。
おっぱいが大きくて肩が凝るのが悩み。



深山 雄三

結衣の家の使用人として働いている。
周りは女性のメイドばかりで一人だけ
おっさんのためか嫌われている。
お嬢様の結衣だけ構ってくれるため
好意を寄せている。
どうにかあのデカ乳を自分のものに出来ないか
日々画策している。



朝比奈結衣

この屋敷の主の
一人娘だ

彼女だけが俺に
優しく接してくれる

そして
この乳だ

いつ見ても
すごい乳だな

お嬢様でしたか
どうかされましたかな？

おじ様がいつも
お掃除してくれている
お陰で

屋敷がキレイになっているので
お礼を言いに来たのですわ

いやいやそんな
これが私の仕事ですから

そうですわ



私もお掃除の
お手伝いをいたしますわ！



そんな...！
お嬢様がする
ようなことでは...

遠慮なさらないで
わたくし感謝しているの
ですから

あせ
あせ

何かお礼が
したいのです！



だが彼女も引く気が
なさそうだ...



まいった...
この娘に手伝わせているのを
見られたら何て言われるか...

...そうだ



ここですか？

「いっしょに」

使っていた道具が
片付けられて
いなかったようで…

申し訳ないですが
整頓のお手伝いをして
もらってもいいですか？

もちろんですわ

おじ様のために
がんばりますわ！

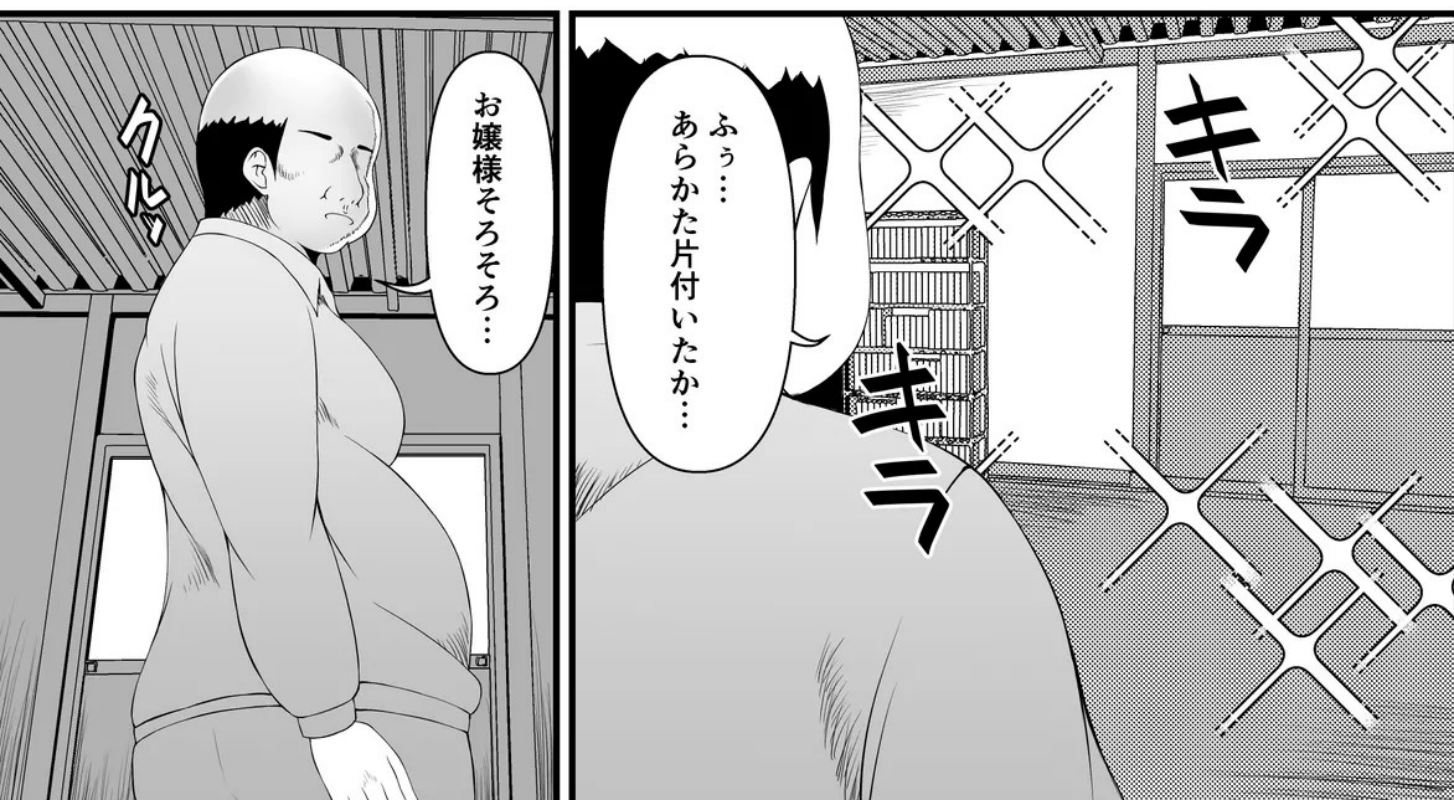
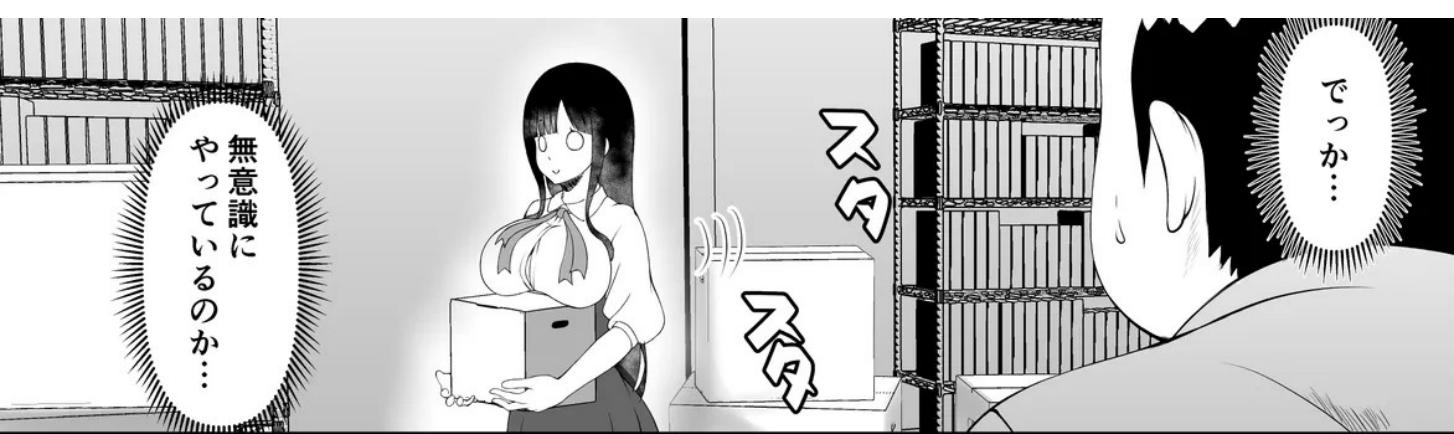
やはりこの娘は
良い子だなあ…

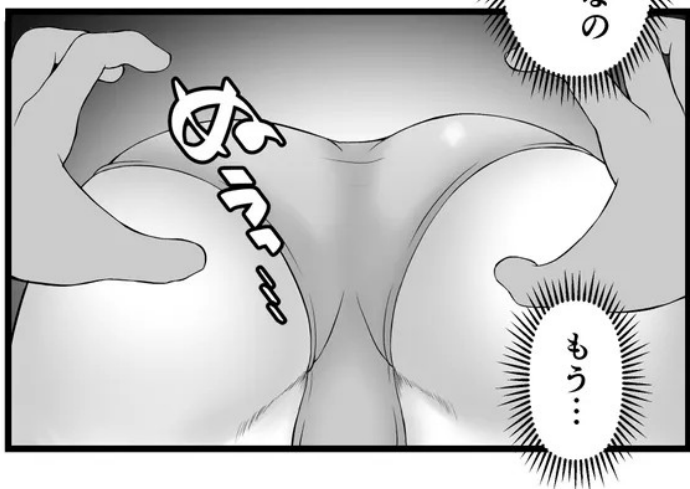
おじ様こちらの物は
どうすればいいですか？

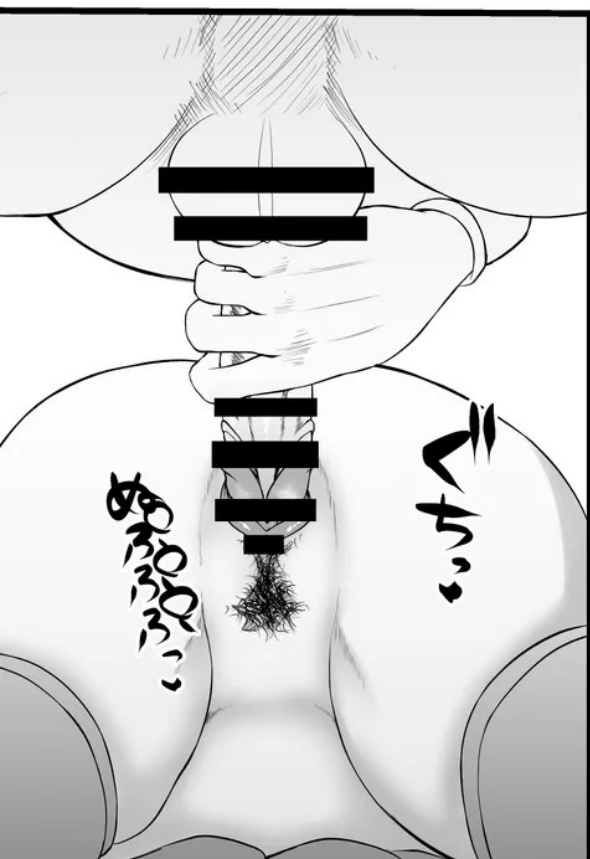
ああそれは…

?

「ズン」









ぶるん

ぶるん

おほっ♡
お嬢様まんこ
気持ち良すぎっ♡

絞め付け
やばすぎてもう

ぽろ

射精るっ!!

ぽろ

中めるぬるで
ちんこ溶けそ…♡

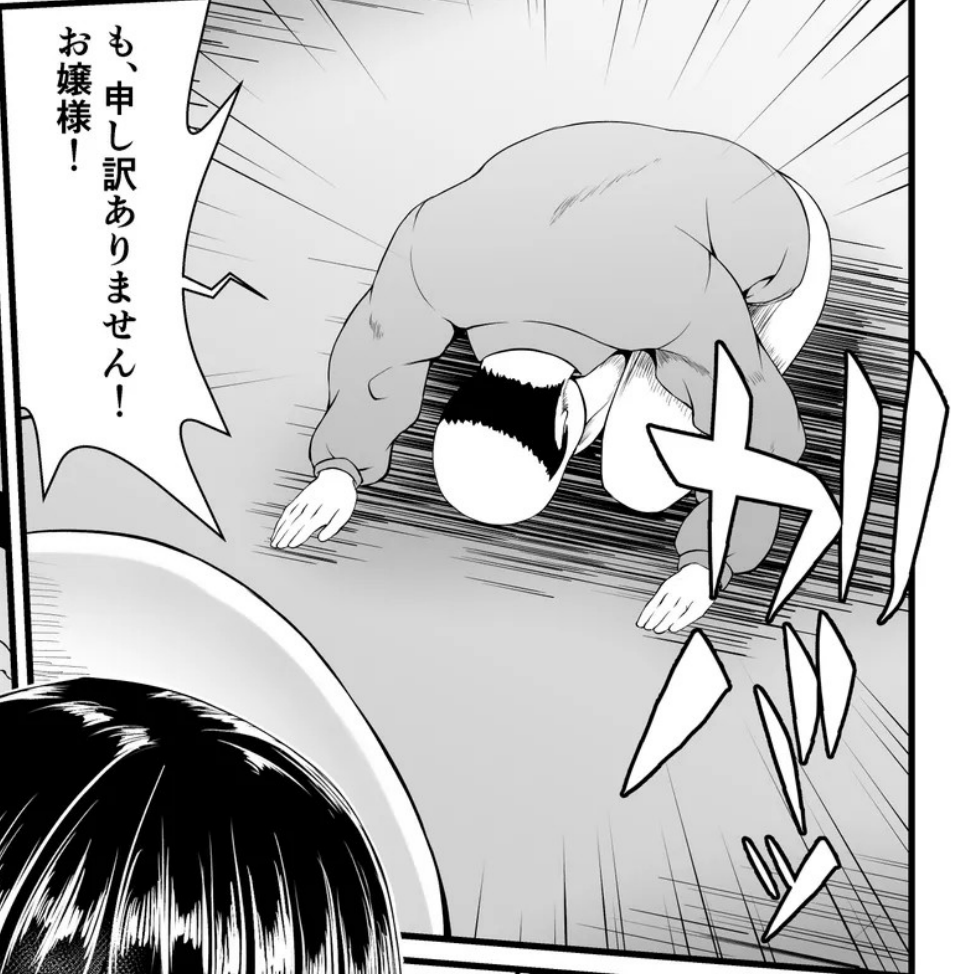
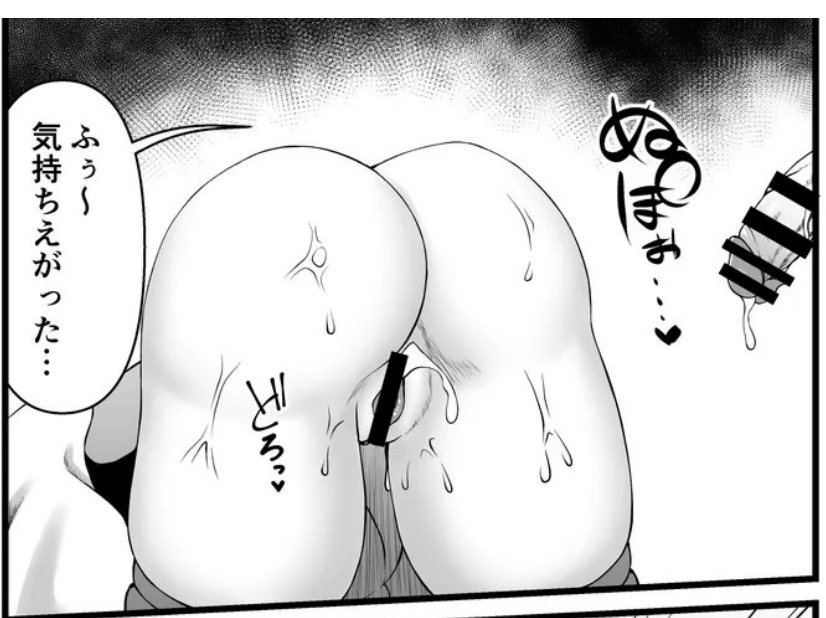
ちんぽ押し付けて
最後の一滴まで中出し…♡

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ





もしかして
セックスを知らないのか？

だったら



おじ様は
すごいことを
お知りになっている
のですね！

な、何だ
この反応…？



お嬢様が望むなら
もっと気持ちいいことを
教えてあげますよ

本当ですか！
わたくしもっと
知りたいです！

いいですとも
ですがこのことは
私たちがけの秘密ですよ

秘密…
なんだか心踊る響きですわ！
わかりました！



お嬢様

それではこれからよろしく
お願いしますね…



翌日

後から
知ったことだが

彼女は親から
性に関することは
遠ざけられていたらしい

気持ちいいですか
態勢崩しちゃダメですよ

はひ♡
おじ様の指
わたくしのアソコ
擦り上げて♡

アソコじゃなくて
おまんこっていうんですよ

おまんこ…
そうなのですね
失礼しました

故に好奇心のあるお嬢様は
性行為に興味を持ったようだった

それではもっと
気持ちよくなれるものを
あげますよ

きつとお嬢様も
気に入るはずですよ



そこは...!

ぐわん...

どうですか?

これっ♡
おしっこの穴
ぞりぞり擦れてっ♡

くるっ♡
あの気持ちいいの
来ちゃいますっ♡

それはイक्त
いうのですよ

ふふっ
お気に召して
何よりですよ

こうやって普通とは
違う快楽を与えていく...



わたくしの口で
おじ様のおちんぼ...を
舐めれば良いのですね

それから...



私はもっと激しいのが
好きでしてね

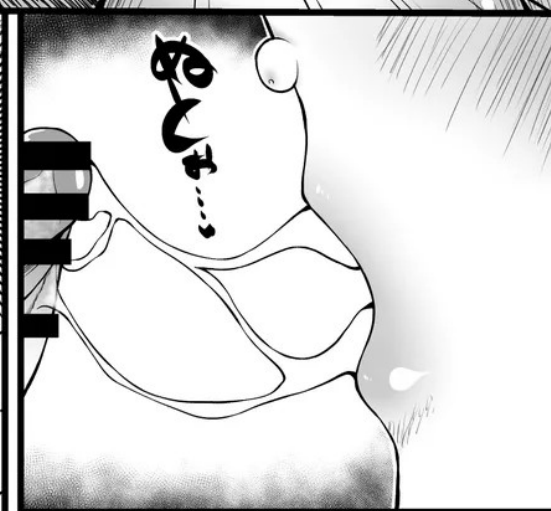
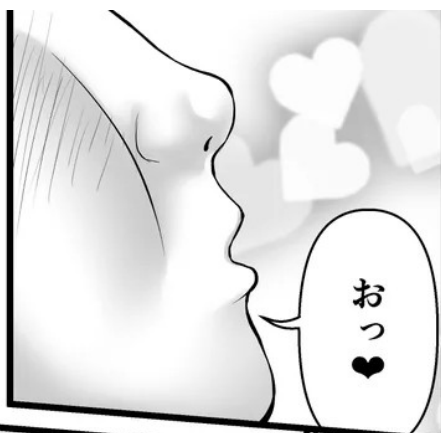


どうでふか?

ええ...
いいですよ

ですが







これっやっぱり
気持ちいいです♡

それじゃあ
入れますよ

おちんぼが
奥ずんずんって♡

おっ
射精るっ



ふうー
気持ちよかった
ですよー

えっ…
そんな…



ん?
お嬢様
どうかしましたか?

いいえ!
なんでも
ありませんわ

では私暫くの間
お相手できないので
これをお使い下さい





おじ様から
いただいた
「これ」...

はぁっ♡

はぁっ♡



おまんこを
程よく
刺激して...

イケそうで
イケない...



お嬢様？
お顔の色が
優れないようですが...

だ、大丈夫ですわ...
お気になさらないで
下さい...

ふー

ふー



しっかり
つけて過ごしてる
ようだな



おじ様のおちんぽで
減茶苦茶にして
もらいたい...

でも私から
お願いするのは
はしたないですよ...

はー♡

はぁ♡

はー♡



果たして
どのくらいもつか...

ふー

あれから一週間
彼女とは何も
していない

俺の目的は
彼女を俺の
性奴隷にすることだ

そのために
ここ数日感で何も知らなかった
彼女に快樂漬けにし

ここで
何もしないで焦らす

オナニーは
するだろうが

その程度で
ちんぽの味を覚えた
雌は満足できないだろう

ましてや普通では
得られない快感を
教え込んだから猶更だ

そろそろ
セックスして欲しさに
来るかな？

どうかしましたか
お嬢様？

おじ様…

来た♪



うーん

どうしましょうか
私今日は
疲れているのでねえ



お願いします！
もう体が疼いて
どうにかなんて
しまいそうなんです！



うーん



はぁ

お願いします…
おじ様のおちんぽで
イかせてください…

はぁ

自分で色々しても
おじ様がしたように
気持ちよくなれないのです…



はぁ♡

わたくしのおまんこ
もうぐちよぐちよの
とろとろで気持ちいいですよ…♡

きっとおじ様の
おちんぽを満足させますから…！



ほ、ほら
見てください！

ごろん



それじゃあ俺が『使ってやる』…

よつと！

あ

ぶるんっ

発情まんこやっぱ…
一週間焦らした
だけはあるぜ…

これが
欲しかったのお♡

ギョ
ギョ
ギョ

ギョ

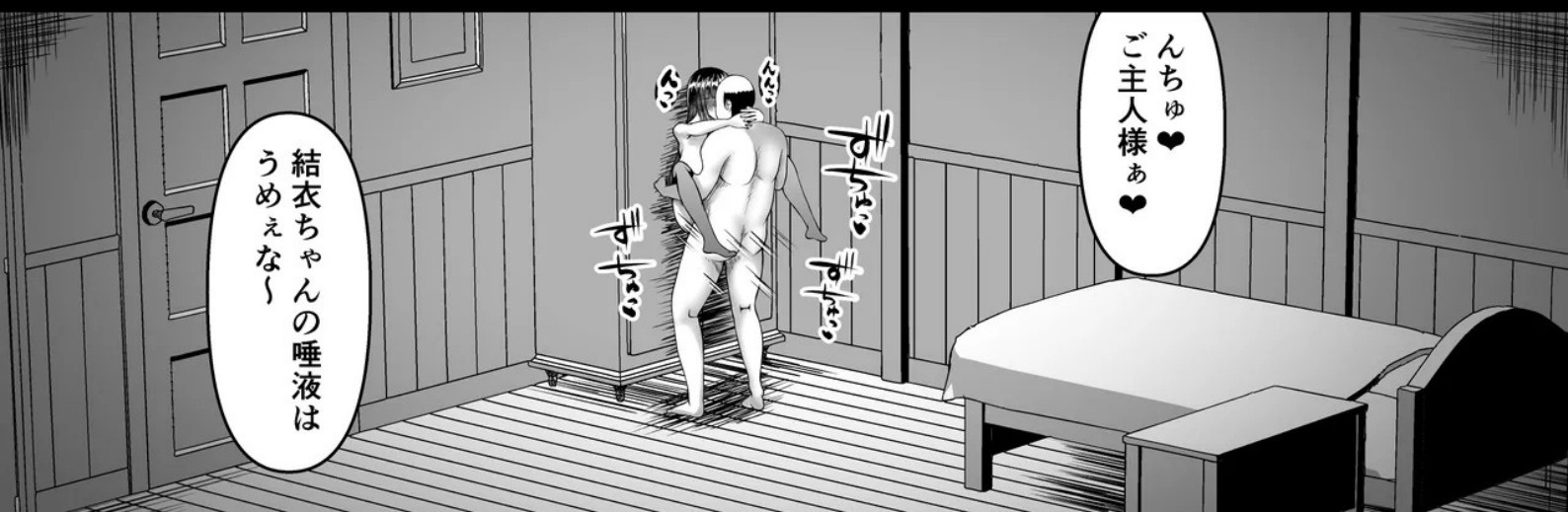
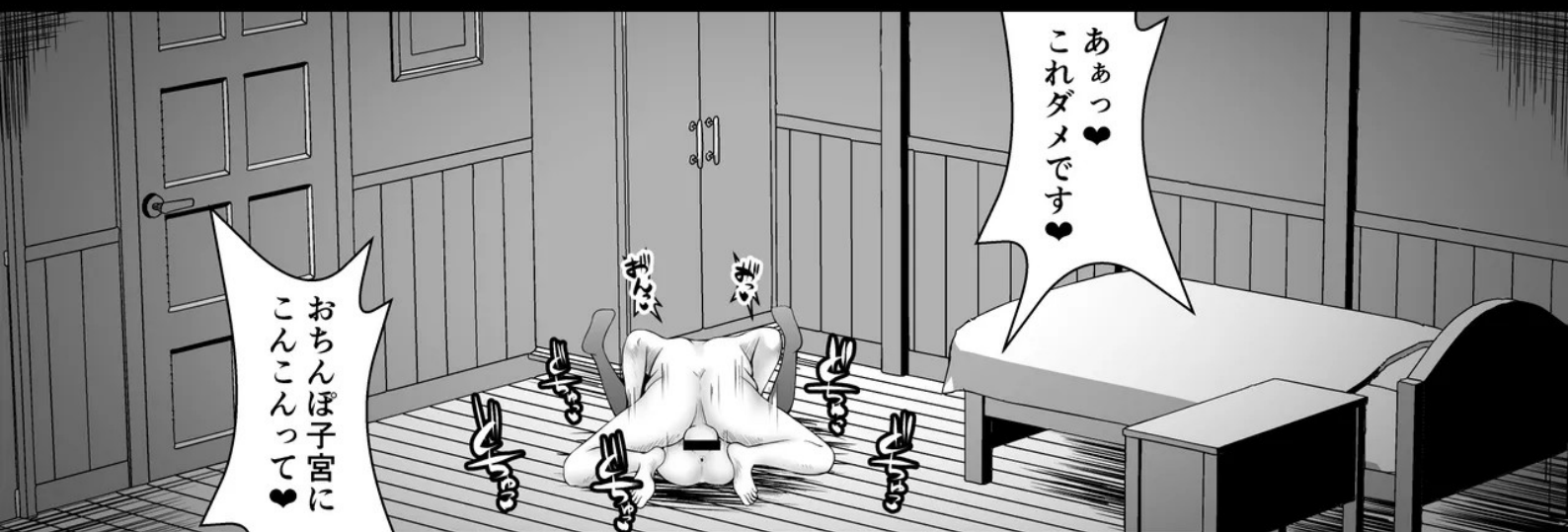
ぬめい♡
あん♡

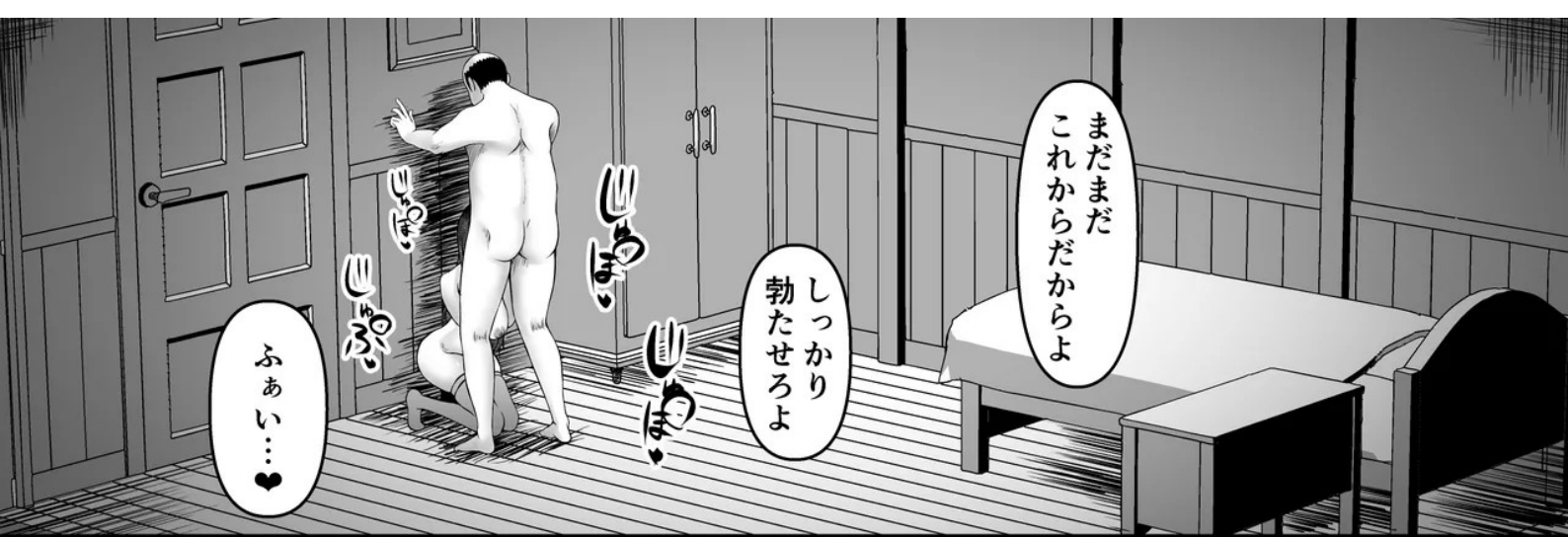
どうして
抜くのですか

調子に乗んなよ

お前は俺を
気持ちよくする
『穴』なんだよ

お前が気持ちよく
なりたいたなら
しっかり『奉仕』しろ





子宮イキ
キメて孕め!!

430

ひゅ
30

あ
30

ひゅ
30

ふう
朝までやったから
キンタマの中
空だわ

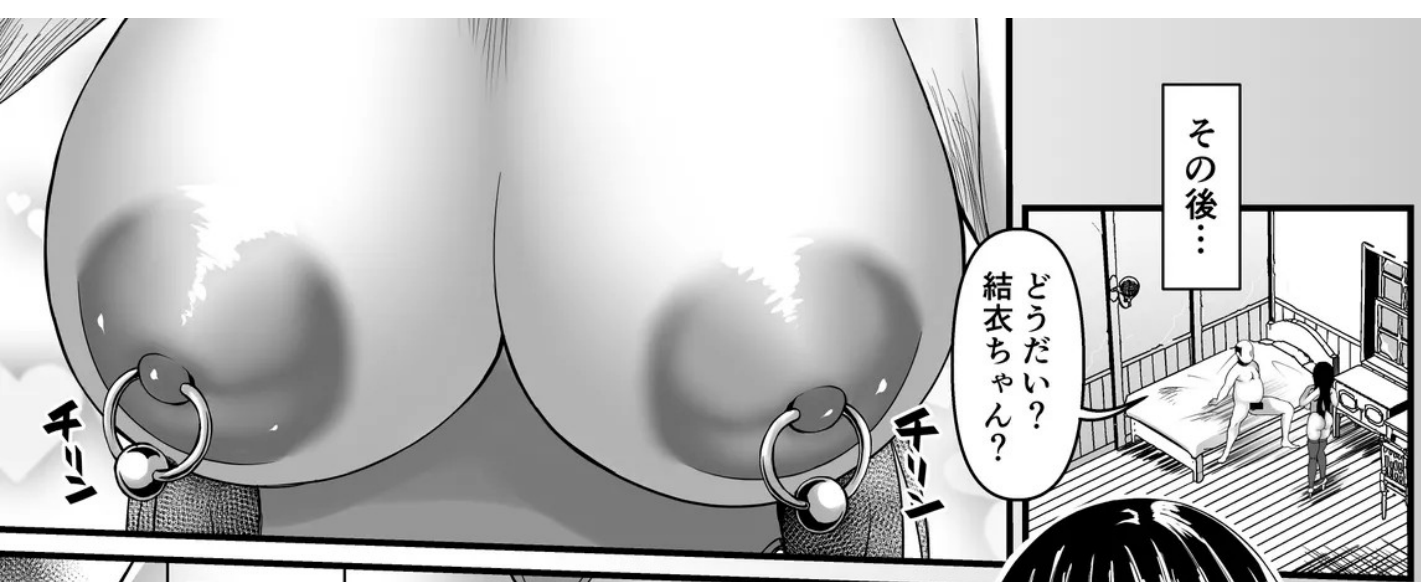
それじゃ
これからも
よろしくね

ひゃい...

は

は







作者の許可なく
「作品の無断転載・複写・web上へのアップロード」
はおやめください

